

大学施設の老朽化対策により、 安心・安全な教育研究基盤を形成する（三重県津市）

事業者：国立大学法人 三重大学



改修前



改修後



老朽化によりタイルが剥落

【事例】 三重大学(上浜)
未来地域社会創造拠点Ⅱ

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
 (1) 人命・財産の被害を防止するための対策
 (2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

対策名：93 国立大学施設等の老朽化・防災機能強化対策



主たる施策グループ： 2-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生 教育・文化等

事業名：三重大学（上浜）老朽化改修

- ポイント**
- 老朽化により安全性等が著しく低下している教育研究施設を改修
 - 事故等のリスクが低減し、学生や研究者の安全を確保

地域の概要・課題

国立大学等の施設の多くは、昭和40年代から50年代に整備されており、一斉に老朽改善のタイミングを迎えています。三重大学（上浜）においても、築40年を経過した建物で老朽化により外壁タイルが剥落しており、学生や研究者に人的被害を及ぼす恐れがありました。また屋根の防水機能の低下による雨漏りの断続的な発生により、屋内の天井や壁の劣化が進行しており、屋内においても安全性に課題がありました。

見込まれる効果

建物の安全性が改善されたことにより、災害発生時等における事故のリスクが低減し、安全・安心な教育研究環境を確保することが可能になります。

また、当該事例のように、経年に応じた段階的な改修を適切に実施していくことで、建物の耐用年数を長期化することができ、より安全・安心に建物を長く使用していくことが可能となります。

事業の概要

外壁の改修工事や屋根の防水工事、設備機器の更新等を実施し、建物の長寿命化を図りました。

（上記以外の国立大学施設等における危険箇所の例）



雨漏り等による内装材の劣化



鉄筋の腐食によるクラックの発生



避難導線となる屋外階段の劣化



配管の腐食による漏水の発生

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
 (2) 伝達の高高度化
 デジタル強靱化に関する施策の